

広報
2026
4月号

皐ヶ丘

発行 皐ヶ丘自治会
皐ヶ丘3丁目142番地
電話/FAX 64-2834
Email stkjichi@ma.ctl.ne.jp
皐ヶ丘自治会ホームページ
<http://www.ctl.ne.jp/~stkjichi/>

第44期 自治会長の横井祐司でございます。

早いもので、早や1年がたちます。

団地へ転居しまして約5年が経ちますが、会社勤めの間は妻に任せきりで殆ど関わりがありませんでした。そのお蔭で会長就任半年くらいは、業務内容に追われてバタバタでした。しかしながら、何とか1年勤めあげたと思います。皐ヶ丘も世代交代が進み、新しく入居される方は、自治会に入会されない方も見えます。かたや自治会の財政はひっ迫しつつあります。その為、非自治会員の方にも環境整備費用のご負担をお願いすべく下地作りをしてまいりました。これからは、ボランティアとして「草刈り倶楽部」などに参加しながら地域貢献をしてまいりたいと存じます。

一年間、誠にありがとうございました、心から感謝申し上げます。

皐ヶ丘自治会 副会長 橋本 英昭

自治会会員の皆さま、こんにちは。このたび、任期満了に伴い自治会役員を退任することとなりました。在任中は、地域行事の運営や環境整備、防災活動など、さまざまな取り組みに携わらせていただきました。これも皆さまのご理解とご協力のおかげで、無事に務めを果たすことができました。心より感謝申し上げます。至らない点多々あったかと思いますが、地域のつながりの大切さを改めて実感し、私自身にとっても貴重な経験となりました。今後は一会員として、引き続き自治会活動を応援し、地域の発展に微力ながら協力してまいりたいと思います。最後になりますが、皆さまのご健勝と地域のさらなる発展をお祈り申し上げ、退任のごあいさつとさせていただきます。

これまで本当にありがとうございました。

皐ヶ丘自治会 副会長 田村 裕子（高齢福祉部担当）

少子高齢化の波は、この地域にも確実に押し寄せています。若い方々にも自治会の役割を担っていただく為に自治会も変わっていかねばなりません。その為に、ぜひ皆様の知恵とアイデアをお貸しください。一年間ありがとうございました。

総務部長 丸木 俊子

44期、皐ヶ丘自治会の役員になって、内側からその活動内容を詳しく知ることが出来ました。私たちが安心して当たり前で生活が出来ているのは、自治会の活動がベースにあることを実感すると共に、その重要性を認識しました。4月から一会員に戻りますが、この思いを忘れることなく、これからの自治会活動に参加をしていきたいと思っています。一年間有難うございました。

会計部長 白井 春奈

一年間会計部長を務めさせていただきましたが、仕事をしながらの為に2人の部員さんと前期会計部長さんに沢山助けていただきました。ありがとうございました。知らない事が沢山あり、会計のお仕事をしながら少しでも皐ヶ丘の事も知る事ができました。会計の仕事も分かりかけた頃に任期が終わります。自治会運営を潤滑に進める為の課題も沢山あるように思います。

一年間ありがとうございました。

環境部長 後鳥 竹彦

前任環境部長の体調不良により、期の途中から環境部長を担当させていただきました。

自治会役員自体初めての経験でわからないことばかりでしたが、環境部長として様々な業務に携わることで、皐ヶ丘には美しい公園や緑地、緑道がたくさんあって、それらの環境美化やゴミ集積場等の管理が、多くの住民の方々の協力で維持され成り立っていることを知ることができました。皐ヶ丘の環境美化活動に関わるすべての方々に深く感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

文化体育部長 中村 正

一年を通じて皆さまのご協力を得、文化・体育部長を何とか務めさせていただきました。忙しい一年ではありましたが新しい出会いもあり、良い経験となったと思っております。

来年度もご協力よろしくお願いいたします。

防災・防犯部長 瀬辺 典子

皐ヶ丘自治会員の皆様、防災・防犯部の活動にご参加・ご協力をいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

次年度も変わらぬご支援を頂きますようお願いいたします。

春のウォーキング 3月15日 開催 されました！

& 軽スポーツ体験 3自治会主催

快晴の下「春のウォーキング & 軽スポーツ体験」が開催され、多数の参加を頂き最後の「じゃんけん大会」には大いに盛り上がりました。



環境部からごみ出しについてのお願い!!

最近ゴミ出しについて、違うエリアへのゴミ出しや無記名でのゴミ出しなどで困っているという声が寄せられています。ゴミを出される際は、決められたルールを守っていただくようお願いいたします。この地域は、皆様の協力で快適な環境を保っています。ルール・マナーを守り、みんなが気持ちよく暮らせるまちづくりにご協力ください。

防災・防犯部よりお願い!!

災害と対策



地震からいのちを守る

いつ、どこにいるときに起きるかわからない地震。突然、強い揺れを感じてもパニックにならず落ち着いて行動するには、日常生活のさまざまな場面で、地震を想定した「いのちを守る」行動をイメージする習慣が大切です。

街中・道路にいる場合

屋根瓦や割れた窓ガラス、看板など、上からの落下物や建物の崩壊に注意する。



揺れが収まったら、公園など広く安全な場所へ移動する。

自動販売機や路上に設置された看板、自転車などの転倒に注意する。

鞆などの手荷物などで頭部を守り、建物から離れ、開けた場所を探す。

地震

岐阜県で想定される被害

最大震度

6 弱

建物被害

全壊 35,000 棟

半壊 100,000 棟

人的被害

(建物とうかいによる)

死者 470 人

負傷者 13,000 人

避難者 161,000 人

帰宅困難者 19,500 人

このページは“ぎふ防災ハンドブック”
2025 年度版より転載しました。

自宅にいる場合

あわてず、落ち着いて安全を確保する

安全な空間へ移動

物や窓ガラスの破片が落ちてこない、家具などが転倒・移動してこない空間へ移動する。

丈夫なテーブルの下に逃げる

丈夫なテーブルがあればその下に入る、または姿勢を低くし、クッションや雑誌などで頭部を保護する。



火元から離れる

ガスは震度5以上で自動停止。むやみに近づくとやけどをする危険性が高いため、火元には近づかず身を守ることを優先する。



エレベーターに乗っていたら

マンションやオフィスのエレベーターで揺れを感じたら、すべての階のボタンを押し、最初に止まった階で降りる。もし閉じ込められたら、インターホンを押し（長押し）落ち着いて救助を待つ。



Check!

どこに移動するか決めておく

地震の際、家の中、マンションのどこに移動するか、子どもとあらかじめ決めておきましょう！また、地震に備えて室内に安全な場所を確保することも大切です。

揺れが収まったら

避難ルートの確保

いつでも避難できるように玄関ドア、部屋の窓やドアを開けて外部への避難ルートを確保する。



足元から備えよう!

家の中は割れたガラスもあるので、子どもにもスリッパやくつをはかせる。



エレベーターは使わない!

揺れが収まって避難する場合は、マンションなどは必ず階段を使って避難を!

お店にいる場合



ショーケースのガラスが割れたり、扉が開き商品が落下することがあるので注意する。

スーパーやコンビニではガラスびんや缶など商品の落下、棚の倒壊に注意し、開けた場所、柱の近くに移動する。

身を守る行動を!



買い物カゴを頭から被ったり鞆などで頭部を守り、蛍光灯や商品の落下に備えて安全の確保を!

皐ヶ丘周辺の

歴史風土記

第11回

齊藤千勝

天 猷 寺

元和2年(1616年)、土岐・恵那・可児郡の内で1,600石を統治した旗本・馬場昌次が父の菩提のために建立した馬場氏の領内菩提寺です。寺には馬場氏代々と僧侶の使用した駕籠や詩経物産図譜などがあり、本堂裏には馬場氏累代の大きな墓石があります。山門は天保6年(1835年)に、釜戸町神徳字西山地区自生地の大木をもって建立したもので、国内唯一のハナノキだけで作られた希少な門です。天猷寺は「椿寺」とも呼ばれ、椿の花の時期には多くの人々が訪れます。山門のほか、駕籠、詩経物産図譜(動・植物絵)、旗本馬場氏累代の墓が市の文化財に指定されています。

こんな話も残っています。備前の国、原城には、キリシタンの旗がぶきみにはためいていました。旗本馬場利重は家来たちと一緒に命令を待っています。敵は、百姓町人それに女・子どもまでまじっています。利重の槍(備前兼光作の名槍)は今までに幾人ものキリシタン信者の血を吸ってどんより曇っています。やがて出陣の命令が出て、激しい戦が続き翌年になってようやく城を落とすことができました。戦で使った血ぬりの槍は、居間にかけてありましたが、ある夜家来がそれを持ち出し、狂ったように人を傷つけました。手元に置くのは良くないと釜戸の天猷寺へ送りその槍で死んだ人の冥福を祈ってもらいました。その後この血槍は土蔵へ納められていましたが、蔵から出された時に、お坊さんがけがをしたり、強盗が入り小僧さんが斬り殺されたり、きまって悪いことがおきました。それから一層注意がはらわれ、血槍は土蔵の中にしっかり納められています。



久々利柿下字中野にある瑞龍山潮音寺は瑞浪市釜戸の旗本馬場氏4代・馬場尚恒により宝永年間に創建され、天猷寺の大雲和尚を迎え開山としました。天猷寺の山号龍吟山の龍と瑞浪の瑞をとり瑞龍山とし尚恒の法名・潮音院から潮音をとり潮音寺にしたとあります。

次回の話しはキリシタンです。

編集後記

本年度の特筆すべき事は、まず3自治会合同で「桜ヶ丘ハイツ 夏まつり」さらにお正月明けに「どんど焼き」が久しぶりに開催されたことだと思います。「スポーツ大会」「花いっぱい運動」他にも多数のご参加をいただきました。「こんなにもたくさんの子供たちが居たのだ!」とつぶやかれる人もいらっしゃいました。「草刈り倶楽部」や各種ボランティア団体の皆様の活躍によって皐ヶ丘の環境が守られています。主催者、関係者の皆様に心からの感謝と敬意を贈りたいと思います。

広報部の活動にご協力いただきました、班長さん、執行委員の皆様にも心より感謝申し上げます。本号を以て第44期「広報皐ヶ丘」の発行を終了させていただき、次期第45期広報部にバトンを繋ぎたいと思います。ありがとうございました。

第44期 広報部 浅野 義和・五木 秀樹・恒川 道子